

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公開番号】特開2007-89015(P2007-89015A)

【公開日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2005-277750(P2005-277750)

【国際特許分類】

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 B 7/26 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 9 L

H 0 4 M 1/00 R

H 0 4 B 7/26 1 0 9 K

H 0 4 B 7/26 R

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線を介して近距離に存在する周辺装置から前記周辺装置の情報を取得して前記周辺装置を識別する周辺装置識別子を出力する近距離無線通信手段と、

通信処理を実行し、発呼者を識別する発呼者識別子を出力する通信手段と、

前記周辺装置識別子から前記通信装置の周辺の状況を表し前記周辺装置の利用者または前記周辺装置の利用者が属するグループを識別する情報を含む状況識別子を導出し、前記状況識別子と前記発呼者識別子とに基づいて前記通信手段が通信を確立する際の接続動作を決定する通信動作決定手段と、を具備することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の通信装置であって、

前記通信動作決定手段は、前記状況識別子から導出される優先度情報と前記発呼者識別子から導出される優先度情報を比較した結果に基づいて前記接続動作を決定することを特徴とする通信装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載の通信装置であって、

前記通信動作決定手段は、前記状況識別子に対応する優先度情報と前記発呼者識別子に対応する優先度情報を格納する状況優先度テーブルに基づいて前記状況識別子と前記発呼者識別子の優先度情報を導出し、前記通信手段の動作を決定することを特徴とする通信装置。

【請求項 4】

請求項 1 ないし請求項 3 のいずれか一項記載の通信装置であって、

前記通信動作決定手段は、前記状況識別子と前記発呼者識別子との対応を示す利用者情報に基づいて前記通信手段の動作を決定することを特徴とする通信装置。

【請求項 5】

請求項 4 記載の通信装置であって、
前記利用者情報は、前記周辺装置識別子と前記状況識別子との対応を示す情報を含み、
前記通信動作決定手段は、前記利用者情報に基づいて前記周辺装置識別子から前記状況識別子を導出することを特徴とする通信装置。

【請求項 6】

請求項 4 又は請求項 5 記載の通信装置であって、
前記通信装置は、前記利用者情報を設定する利用者情報設定手段を具備することを特徴とする通信装置。

【請求項 7】

請求項 1 ないし請求項 6 のいずれか一項記載の通信装置であって、
前記通信装置は、前記通信動作決定手段が決定した前記動作の状態を通知する動作状態通知手段を具備することを特徴とする通信装置。

【請求項 8】

請求項 1 ないし請求項 7 のいずれか一項記載の通信装置であって、
前記近距離無線手段は、前記通信装置を識別する自装置識別子を前記周辺装置へ送送することを特徴とする通信装置。

【請求項 9】

請求項 1 ないし請求項 8 のいずれか一項記載の通信装置と、音声入力装置と、音声出力装置と、着信通知装置と、操作入力装置と、表示装置と、を具備する携帯電話端末。

【請求項 10】

無線を介して近距離に存在する他の携帯電話端末から前記他の携帯電話端末の情報を取得して前記他の携帯電話端末を識別する周辺装置識別子を出力する近距離無線通信手段と

、
通信処理を実行し、発呼者を識別する発呼者識別子を出力する通信手段と、
前記周辺装置識別子から前記携帯電話端末の周辺の状況を表し前記他の携帯電話端末の利用者または前記他の携帯電話端末の利用者が属するグループを識別する情報を含む状況識別子を導出し、前記状況識別子と前記発呼者識別子とに基づいて前記通信手段が通信を確立する際の接続動作を決定する通信動作決定手段と、を具備することを特徴とする携帯電話端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

前記従来課題を解決するために、本発明の通信装置は、無線を介して近距離に存在する周辺装置から前記周辺装置の情報を取得して前記周辺装置を識別する周辺装置識別子を出力する近距離無線通信手段と、通信処理を実行し、発呼者を識別する発呼者識別子を出力する通信手段と、前記周辺装置識別子から前記通信装置の周辺の状況を表し前記周辺装置の利用者または前記周辺装置の利用者が属するグループを識別する情報を含む状況識別子を導出し、前記状況識別子と前記発呼者識別子とに基づいて前記通信手段が通信を確立する際の接続動作を決定する通信動作決定手段と、を具備することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記構成によれば、利用者の近距離に存在する周辺装置から近距離に誰がいるか、あるいはどのグループに属する人がいるかを識別して発呼者ごとの通信動作を決定することができるので、生活場面が場所や時間や外部雑音や移動速度に限定されない場合であっても、生活場面に合わせて自動的に通信動作を決定することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また本発明の通信装置は、前記通信動作決定手段は、前記状況識別子から導出される優先度情報と前記発呼者識別子から導出される優先度情報を比較した結果に基づいて前記接続動作を決定することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また本発明の通信装置は、前記通信動作決定手段は、前記状況識別子に対応する優先度情報と前記発呼者識別子に対応する優先度情報を格納する状況優先度テーブルに基づいて前記状況識別子と前記発呼者識別子の優先度情報を導出し、前記通信手段の動作を決定することを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】